

報告日: 2006_年_10月_23日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 木全 班 班長氏名: 浅井一也 口頭報告者氏名: 浅井一也

スケジュールの見直し

10月30日に予定していた市役所と警察署への訪問を遅らせる事にした。

今日は、市役所と警察署への交通手段や訪問する部署を調べて、そこでする質問などを考える事にした。

今日の進行状況

市役所班

有馬君と安藤喜紀君が、訪問先の部署について調べた。

足立君が訪問先への交通手段を調べた。

警察署班

猪俣君と稲山君が訪問先の部署について調べた。

安藤司君が訪問先への交通手段を調べた。

班ごとに分かれて訪問候補日時を複数挙げた。

訪問先への質問を考えた。

名古屋市のどの辺りが一番交通渋滞が激しいか？

いつの時間帯が一番渋滞をするのか？

渋滞の主な原因は何か？

1日、1週間、1ヶ月の平均発生件数は？

どのような時期に交通渋滞が起こりやすいか？

渋滞防止の対策案は何か？

報告日: 2020年10月23日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 棚橋班

班長氏名: 川崎健太

口頭報告者氏名: 加藤

- ・今日はインターネットを使って調べました,
- ・今回調べたこと!
- ・最近では住宅地が広がっているため住宅地の道路が狭く歩道がない、
なので車が通ると危ないから歩道の無い道路を避けるべき。
- ・歩道がないと子供や老人が危ない、車いすの人もいるから
- ・道路幅・歩道幅があり、街路の植栽もあるといいんじゃないかと思う
- ・最寄駅があるといい。
- ・古い住宅地だと道路も昔すぎ、整備されていいのどすうすくない
のど整備した方がいい。
- ・道路を管理する主体が、民間企業だと更によろしくない。
- ・国の企業が道路などは整備した方がいい。
- ・道路のバリアフリー化

次回

調べた資料を少しづつまとめる!!

報告日: 2006年10月23日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: すみ 班

班長氏名: 木村

國本

堀川の歴史をまとめた。

堀川に行く場所を決めた。候補としては
猿投橋、尾頭橋、港新橋。

理由は、水質を調べてみると、猿投橋はBODが
一番低く、港新橋は一番高かったから。
尾頭橋はDOが一番低かったから。

あと、汚れの原因も少し調べた。

堀川には流原らしいものが無く、新しい水が流入
することがほとんど無いことが水質汚濁の原因と
考えられている。

名城公園、堀川

かんたんかんたん

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 山島田 班 班長氏名: 杉浦 晃一 口頭報告者氏名: 進藤 大輝

今週は水害の恐さ、他国の水害防止対策、水害を体験した人の感想を調べた。

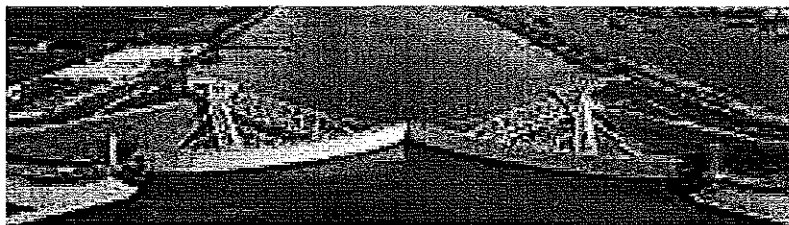
水害の恐さについて

水圧は想像以上におそろしい力があり、男性でも水深 40 センチを超えるとドアを開くことができなくなるといわれている。また、地下にエレベーターの電気施設などを設けているビルも多く、浸水すると、エレベーターなどが停止して閉じこめられるおそれもある。もちろん、電気も消えるのでパニックになりやすい。

他国の水害について

土地の30%が海面より低いオランダについて調べた。オランダは、昔から水害が起こりかなりの被害を出してきた。そのため、干拓や大規模な堤防といった水害に対する対策が国のいたる所にとられている。現代は、河川に下流(海に合流する場所)に可動式の堤防を建設するなど、水害対策に対する技術が発展している。この技術を日本の主要な場所に使えばいいと思う。

可動式堤防(オランダ)



水門(日本)



都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

『中部国際空港を建設する際に行われた環境アセスメントについて考えてみよう』

グループ: 水澤 班

班長氏名: 田口知弘

◆ 今日の計画

班員→インターネットで生態系について調査

リーダー→愛知県環境調査センター坂部先生にアポをとる。

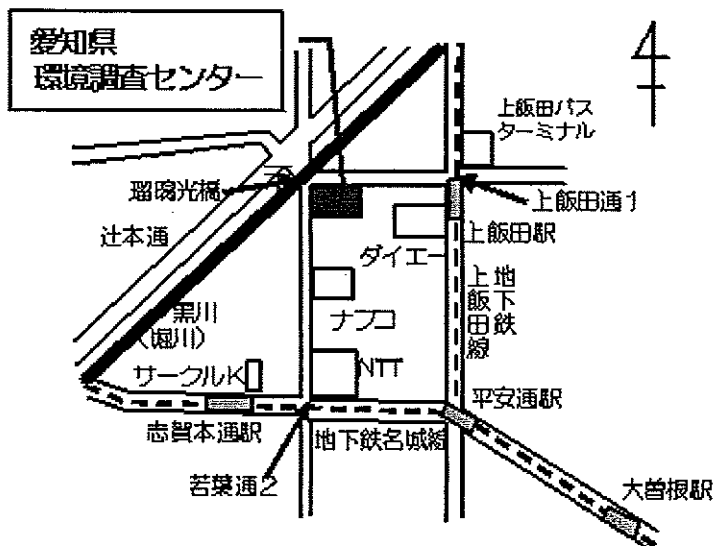
◆ まとめ

- ・ 建設後も海水の流れなどの変化はみられないことがわかり物理的、化学的な環境には影響ないものと考えられる。

◆ 今後の予定

次の時間では、坂部先生の都合がよければ愛知県環境調査センターに伺います。

愛知県環境調査センター所在地



名鉄大同町駅集合→金山駅→地下鉄名城線平安通駅→地下鉄上飯田線上飯田駅→徒歩→愛知県環境調査センター

※坂部先生に資料を頂きました。ありがとうございます。

報告日：2006 年 10 月 23 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ：酒 造 班 班長氏名：中田 康仁 口頭報告者氏名：中田

何が一番リサイクルされているかを話し合っコンクリートについて集中的に調べることにしました。
車止めのブロックなどがコンクリートの二次製品として作られていることがわかりました。
そのほかにも身近な製品が二次製品として作られていることがわかりました。
来週までに見学に行く場所を決定したいと思います。候補としては愛知県の建設部が挙がっています。

10月30日 アドバイザーの先生のところに相談しに行く。学外訪問のアポイントをとる。

11月6日 学外訪問

11月13日 まとめ

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 堀内 班

班長氏名: 野末英人

・訪問先への行き方(交通手段, 時間など).

14:47 → 14:58 → 15:04 → 15:08 → 15:15
大同発 金山着 金山発 名古屋着 名古屋発
→ 15:36 → 15:46
野跡着 稲永

・干潟の浄化作用と生態系について.

・質問する内容についてのまとめ.

・最近の干潟の状況, 変化があったか?

・稲永ビジターセンターが今まで行ってきた仕事など.

10/27(金) 稲永ビジターセンター訪問 (全員で).

来週、質問の返答についてのまとめ.

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 舟渡 班

班長氏名: ひさだ

インターネットを使用して調べたこと

- 都民生活を支える森の働き

(1) 森の多面的機能について

森には、洪水や渇水を緩和する働き、土砂の流出や崩壊を防ぐ働きがある

森には、野生動物の生息の場を提供する

- 暮らしと森の関わり

森林整備による利用水量の変化について

(1) 森林整備が行われることにより「洪水調節容量」「利用可能水量」「堆砂量」に影響がある

(2) 潤いと安らぎの提供

市民一人当たりの都市公園面積は？

名古屋市 8.38

アメリカ ロサンゼルス 16.5

イギリス ロンドン 26.9

ドイツ ベルリン 27.4

名古屋市は世界の都市と比べるとすくないことがわかりました。

将来に対する意識

・名古屋の「緑」を増やしていくべきだと思いますか。

増やしていくべき: 76.5%

今のままでよい: 20.2%

減少するのいやむを得ない: 1.3%

無回答: 2.0%

来週までの活動予定

前調べたことをわかりやすいようにまとめる。メインのことについても調べる。

報告日: 2006年 10 月 23 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 大東 班 班長氏名: 見田圭司 口頭報告者氏名: 宮本 昊輔

○ インターネット上訪問先を複数取りあげて、
それに関する情報を調べた。

- ・ 愛知土壤・地下水汚染対策研究会
- ・ 株式会社 アオイテック
- ・ サン・ビック
- ・ タイヤ環境ソリューション名古屋リサイクルセンター
など

○ 次回はアドバイザー教員と訪問先、調査内容の相談をしていきたい。

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 1-1 班

班長氏名: 曾根 仁志

口頭報告者氏名: 森 春有

10/23 <ヒートアイランド対策>

- ① 人工排熱量の低減
- ② 地表面被覆の改善
- ③ 都市形態等の改善

<ヒートアイランド現象の影響>

- ① 生活環境の悪化
 - └ 猛暑の連続, 局地的豪雨,
大気汚染, 助長などの気候への影響
- ② 健康被害
 - └ 熱帯夜の日数, 増加などにもなると,
熱中症や, 睡眠障害などが増えている
- ③ 生態系への影響
 - └ 植物の開花時期が異常に早まったり
生育に障害がでたりする

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: あり 班 班長氏名: 横田 口頭報告者氏名: 山本

【地盤沈下の原因】

4大工業地帯の1つである阪神工業地帯の中心であり明治以後、重化学工業など工業都市として栄え、海や川の近くに多くの工場ができました。

海や川や鉄道の近くに工場が多くできた原因は、色々な製品(品物)を作る為の材料や出来上がった製品を船や汽車で遠くに運搬できるからです(積み込みや積み出しが便利)。

昭和のはじめ頃から南部の臨海部(海の近く)にできた多くの工場(鉄鋼業、金属、機械、食品、化学工業等)が色々な製品の製作、鉄の冷却及び洗浄するために使用する水を、地下水を汲み上げて利用しました。

工業が盛んになるにつれて、地下水の汲み上げ量は年々増加し、汲み上げ過ぎの状態となり地下水が減少し、地盤沈下が起きました。

地盤沈下による主な被害

1. 台風時に起こる高潮のため、海水の流入により家屋、工場及び道路が水浸しになる。
特に工場の機械等は塩の為に錆びついて使用できなくなる。
2. 大雨が降った時は、氾濫したり、土地の低い所は水はけが悪くなる。
3. 地下埋設物(水道管・ガス管・下水道管・ケーブル等)の破損。
4. 建物の破損。

地盤沈下を防ぐ方法

地下水の汲み上げを制限する。工場で使用する水について昭和31年6月、地下水を汲み上げることにについて、いろいろな約束ことを決めた「工業用水法」ができた。この法律は、昭和32年6月、地盤沈下の最も激しい南部工業地帯(阪神電車より南の地域)が工業用水法の適用区域となり、また、昭和35年には、市域全体が一定の深さの地下水を汲み上げてはいけなと決まりました。

2. 地下水に代わる水の確保

地盤沈下は地下水を多く汲み上げたために起こることが分かりました。

そこで沈下を防ぐために法律で汲み上げを規制しました。汲み上げを規制したことに伴い、尼崎市では地下水に代る水を用意するため昭和32年から工業用水道として淀川右岸の一津屋から取水し、工業用水道を工場に配るため3回に分けて工事が行われ昭和43年に完成しました。また、工業用水道は、淀川右岸側の一津屋取水場、江口取水場だけではなく武庫川の六樋からも取水しており、今では1日14万3千トンの施設能力があります。

参考物権

尼崎市の地盤沈下

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/web/contents/info/city/city03/kakou/jiban160316/jibanTop.htm>